



○「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向け、2021年度までのプランを整理

○全庁体制で、施策の構想と実行を同時に推進

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」(気候変動への「適応策」)			2020年度当初 予算計上状況	2019年度			2020年度												2021年度			関係部局																	
取組	施策	内容		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
1	地域気候変動適応センターの設置	群馬県の気候変動適応計画(方針)策定、適応センター設置及び適応策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動・適応に関する情報の収集・分析・発信 ○地域気候変動適応センター設置 ○地域気候変動適応計画(方針)策定、適応策の実施 	当初予算計上	気候変動・適応に関する情報の収集・分析・発信 センター設置 地域気候変動適応計画(方針)策定、公表、計画に基づく施策の実施																														環境森林部				
					2	「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策の加速	<ul style="list-style-type: none"> ○水害対策 ○土砂災害対策 ○道路防災 	県土整備プラン見直し 策定・公表 「災害レジリエンスNo.1」の実現に向けたハード・ソフトが一体となった防災・減災対策の加速																														県土整備部	
								2	国土強靱化市町村地域計画の策定支援	<ul style="list-style-type: none"> ○2024年度末までに全市町村での策定を目指す 	市町村の計画策定を支援																												
					3	県民の「自らの命は自らが守る」という防災意識の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村をはじめとした関係機関との連携 ○県民への情報提供・意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合防災訓練 ○危機管理フェア ○地域防災アドバイザーの養成・活用 ○消防団員の育成 ○動画スタジオを活用した啓発 ○防災Twitter等による情報発信 	総合防災訓練 危機管理フェア 地域防災アドバイザーの養成・活用、消防団員の育成 啓発・情報発信																														総務部
1	知事から全市町村長への親書	<ul style="list-style-type: none"> ○ぐんま5つのゼロ宣言 ○群馬・気象災害非常事態宣言 	親書送付																														総務部 環境森林部 県土整備部						
宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」(気候変動への「緩和策」)			2020年度当初 予算計上状況	2019年度			2020年度												2021年度			関係部局																	
宣言3 災害時の停電「ゼロ」				エネルギーの自立・分散化(地産地消)により、災害時にも電力供給を継続する。さらに、地域外への富(電気代)の流出をなくし、地域内で資金循環させる																																			
1	再生可能エネルギーの導入拡大・地域における自立分散型電源の普及(ぐんま再生可能エネルギープロジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅用「創エネ・蓄エネ」初期投資ゼロ促進事業(所有から使用へ) ○導入促進に向けた新たな仕組みの検討 ○融資制度 	2020年度 補正予定	2020年度補正予算編成の中で具体化 2021年度当初予算編成の中で具体化 2022年度当初予算編成の中で具体化																														環境森林部					
				2	地域における自立分散型電源の普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○県有施設・避難所・病院等に自家消費用の太陽光発電設備+蓄電システムを導入 	2020年度 設置施設の選定 設置工事 2021年度 設置施設の選定 設置工事 2022年度 設置施設の選定																														環境森林部		
							3	地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業	<ul style="list-style-type: none"> ○地域マイクログリッド構築に向け、国補助金を活用してマスタープランを策定。実証試験を目指す 	【マイクログリッド運営事業者】 マスタープラン策定 【マイクログリッド運営事業者】 実証試験に向けた検討・実証試験の実施 【県】 マイクログリッド運営事業者等の支援・対象市町村との調整																													
				4	水力発電所の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○水力発電所の建設 ○既設水力発電所のリニューアル 				実施設計																													
2	水素社会の実現(ぐんま再生可能エネルギープロジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> ○普及・活用に向けた仕組みの検討・実施 ○県内ランニングイベント等の運営車両に導入 ○水素5県連絡会議(茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟)での水素ステーション・FCVの普及推進(2017年度～) 	実施に向け検討	2021年度当初予算編成の中で具体化 2022年度当初予算編成の中で具体化 主催者、スポンサー、FCVメーカー等との調整・実施																														環境森林部 スポーツ局 環境森林部					
				1	FCVの普及・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○産学官金等が連携し、水素社会の実現に向けて総力を結集 	情報交換・連絡調整 会議開催 情報交換・連絡調整 会議開催 情報交換・連絡調整																														環境森林部		
							2	水素活用コンソーシアムの設立	<ul style="list-style-type: none"> ○産学官金等が連携し、水素社会の実現に向けて総力を結集 	コンソーシアム設置準備・展示会開催に向けて検討																													
3	電動自転車の普及・活用(大容量蓄電池・USB電源出力)	<ul style="list-style-type: none"> ○P2G(Power-to-Gas)システムの実証に向けた可能性調査 	当初予算計上	可能性調査																														企業局					
				1	電動自転車の普及・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○平時は公用自転車として、災害時は電源としても活用 ○県内ランニングイベント等の運営車両に導入 	導入検討・運用 ぐんまマラソン ぐんまマラソン																														総務部 スポーツ局 環境森林部 教育委員会		
4	既存の取組の徹底・拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネ改修(県庁舎のLED化など)・ESCO事業 ○認定事業者の拡充、制度融資・専門家派遣による支援 ○群馬県地球温暖化防止条例の運用(事業者向け) ○ぐんまエコスタイル(省エネ・省資源・スマートムーブ)の推進(家庭向け) ○群馬県地球温暖化防止活動推進センターによる普及啓発(セミナー・出前講座など) 	当初予算計上	省エネ改修、ESCO導入検討 効果測定可能な制度への改善検討 新制度の運用開始 取組の推進																														環境森林部					
				1	県有施設の省エネ改修の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネ改修(県庁舎のLED化など)・ESCO事業 	省エネ改修、ESCO導入検討																														環境森林部		
				2	群馬県版環境マネジメントシステム「環境GS認定制度」の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○認定事業者の拡充、制度融資・専門家派遣による支援 	効果測定可能な制度への改善検討 新制度の運用開始																															環境森林部	
3	事業者・県民への情報提供、企業行動・ライフスタイル変革	<ul style="list-style-type: none"> ○群馬県地球温暖化防止条例の運用(事業者向け) ○ぐんまエコスタイル(省エネ・省資源・スマートムーブ)の推進(家庭向け) ○群馬県地球温暖化防止活動推進センターによる普及啓発(セミナー・出前講座など) 	取組の推進																														環境森林部						



○「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向け、2021年度までのプランを整理

○全庁体制で、施策の構想と実行を同時に推進

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」				2020年度当初 予算計上状況	2019年度			2020年度												2021年度			関係部局											
環境中に排出されるプラスチックごみをなくす					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
取組	施策	内容																																
1 県・市町村における率先実行	①	流域で連携したプラスチックごみ対策	○プラスチックごみに関する情報収集・分析・発信 ○内陸県と沿岸県とが連携した発生抑制対策等の計画策定・取組	実施に向け検討	情報収集・分析・発信																													
	②	マイボトル・リユース食器の活用	○県庁生協売店・コンビニでのコーヒーなどのマイボトル販売 ○会議等での飲料をペットボトルからカートカン・マイボトルへ転換 ○環境イベント・ランニングイベント等でのリユース食器使用	当初予算計上	プラスチックごみ発生抑制対策等の予備調査																													
	③	ワンウェイプラスチックから再生プラスチックへの転換	○群馬県グリーン購入ガイドラインの改正 ○調達するプラスチック製品全般を生分解性プラスチック・木製品等へ転換	ゼロ予算で実施 中長期的検討	プラスチックごみ発生抑制対策等の地域計画策定・対策実施																													
2 事業者の取組	①	事業者団体による環境宣言	○プラスチック工業団体ほか	ゼロ予算で実施	事業者団体に対する取組要請、宣言																													
	②	企業・農業者への技術支援・経営支援	○代替プラスチックの技術開発（セルロースナノファイバー等） ○新技術・新製品等の研究開発・事業展開 ○セミナー・経営相談・専門家派遣	当初予算計上	代替プラスチックの技術開発、新技術・新製品等の研究開発・事業展開の支援、セミナー・経営相談・専門家派遣																													
	③	衣料品の廃棄削減	○事業者による衣料品の廃棄削減の取組推進	ゼロ予算で実施	実態把握、事業者への取組要請・支援																													
	④	小売店・飲食店の取組支援	○マイバッグ・マイボトルの推奨 ○プラスチックストロー、レジ袋の削減（2020年7月レジ袋有料化の義務開始）	ゼロ予算で実施	マイバッグ・マイボトルの推奨																													
	⑤	先進的取組の掘り起こし・横展開	○優れた取組は群馬県環境賞などで顕彰	当初予算計上	先進的取組の掘り起こし・横展開																													
3 県民の取組	①	3Rの徹底	○環境にやさしい買い物スタイルの実践（マイバッグ持参、簡易包装商品・リサイクル商品の購入など） ○ぐんま3R宣言、3Rリーダー派遣など	当初予算計上	環境にやさしい買い物スタイル・3Rの取組推進																													
宣言5 食品ロス「ゼロ」				2020年度当初 予算計上状況	2019年度			2020年度												2021年度			関係部局											
「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくす					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
取組	施策	内容																																
1 県・市町村による率先実行	①	「MOTTAINAI」運動の実践・推進	○県庁生協食堂に食品ロスメーター設置 ○職員によるフードドライブ ○3きり・3010・3Rの徹底 ○食品ロス削減全国大会の誘致	ゼロ予算で実施 当初予算計上	県庁生協との調整・食品ロスメーターの運用開始、職員によるフードドライブの実施、3きり・3010・3Rの徹底																													
	②	学校給食の食品ロス削減	○食育の拡充、調理施設の取組支援	実施に向け検討	誘致活動（主催団体との調整）																													
2 事業者の取組	①	「MOTTAINAI」運動の実践	○外食時の食べ残しの持ち帰り・ドギーバッグの普及 ○食べきり協力店の開拓 ○事業者団体による環境宣言（食品関連団体ほか） ○企業によるフードドライブ ○先進的取組の掘り起こし・横展開	ゼロ予算で実施	ドギーバッグ・持ち帰りの推進 食べきり協力店の開拓																													
	②	企業・農業者への技術支援・経営支援	○セミナー・経営相談・専門家派遣 ○新技術・新製品等の研究開発・事業展開	当初予算計上	事業者団体に対する取組要請・宣言、フードドライブの取組要請																													
	③	群馬県版環境マネジメントシステム「環境GS認定制度」	○食品ロス削減の取組必須化	ゼロ予算で実施	先進的取組の掘り起こし・横展開																													
	④	規格外品・賞味期限が近い商品の販売など	○先進事例・県内事業者の調査・研究、実施主体の掘り起こし	中長期的検討	環境賞顕彰式																													
3 県民の取組	①	規格外品、消費期限・賞味期限が近い食品を活用した「MOTTAINAIパーティー」	○MOTTAINAIパーティーの開催・普及推進（県内大学、レストランチェーン、料理研究団体、農業女子等と連携）	2020年度補正予定	MOTTAINAIパーティーの開催・普及推進																													
	②	「MOTTAINAI」運動の実践	○3きり・3010・3Rなどの普及啓発 ○県・市町村のイベント等でフードドライブを実施	当初予算計上	取組の徹底・拡充、フードドライブの実施																													
4 フードバンク・子ども食堂の支援	①	支援を必要とする全ての人に食品を届ける仕組みの構築	○食品提供者とフードバンク・子ども食堂とのマッチング ○フードバンクから要支援者への物流網の構築	当初予算計上	先進事例・県内の取組の調査・研究、市町村等との調整、需給マッチング																													
			○活動空白地域（西毛、北毛など）での活動開始を支援	実施に向け検討	支援策の実施																													
		○災害備蓄など各種制度を活用し、財政面での支援を検討	実施に向け検討	フードバンク活動・子ども食堂開設支援																														
					先進事例・県内取組の調査・研究、市町村との調整など																													
					取組の実施（国への政策要望を含む）																													